

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



坂野家住宅

2007 2008年度 会長 大串 卓 幹事 田上 秀雄

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

VOL. 45 No. 12 (通算No. 2134)

2007年10月3日(水)例会プログラム

点鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸報告

幹事報告

一分卓話



ロータリーは分かちあいの心

2007 - 08 年度 国際ロータリー会長

ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007 2008 年度 会長テーマ

奉仕に熱意

思いやりの心で

例会報告 Vol.45 No.11(No.2133) 9月26日(水)晴れ (司会北村英明副委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 大串 卓会長

入会式 福谷正典会員

外部卓話 米山奨学生 陸 洪省さん

ライラ・セミナー報告 七尾友美子さん

ビ ジ タ ー

米山奨学生 陸 洪省さん

2008年 国際親善奨学生 七尾友美子さん

新会員 福谷正典会員

入 会 式



只今、ご紹介に預かりました福谷正典と申します。昨年の3月に、水海道ゴルフクラブに入社し、今年の2月に支配人に就任いたしました。

今後色々とわからないことがありますけれど、皆様宜しくお願い致します。

THE WEEKLY REPORT

米山奨学生終了証授与式



陸さんには終了証



カウンセラーの島田さんには感謝状

諸 報 告

社会奉仕委員会 (山野井周一委員長)

10月13日に水海道地区グランドゴルフ大会が開催されます。御協力宜しくお願いします。

45周年記念式典 島田 勝実行委員長

皆様のボックスに編成表を入れておきましたので、宜しくお願い致します。

ライラ・セミナー報告 七尾友美子さん



9月22日(土)～24日(月) 茨城県中央青年の家で開催されました。

知らない同士が寝食を共にして、1つの題目について真剣に話し合うという機会は、私にとって初めての体験でした。初めは少し不安でしたが、とてもいい方ばかりで、すんなりと溶け込んで楽しむことが出来、普段はなかなか知り合う事のない異業種の方々、学生の方々との交流を持つことができ、刺激になりました。そして、実業界で地位を築かれているロータリアンの方々が、若者のために3連休を費やしてくださった事はとても貴重なことだと思いました。研修活動においては、「環境問題」という題目について、普段はなかなか照れてしまって真剣に話す事がないのですが、今回はさまざまなバックグラウンドを持った方々と議論を交えることができ、本当に貴重な体験をさせて頂きました。別々の考えを持った複数人の意見をまとめて、形にする難しさを実感しつつも、メンバーがそれぞれの得意分野を活かして、グループ内での役割分担をする様子も興味深く、お互いの価値を認め合う素晴らしさを垣間見る場面がありました。ひとつのことに向かってこれだけの人が動き、感情が交わるところに生まれたエネルギーを実感し、大きなパワーをいただいたような気がします。

幹事報告 (田上秀雄幹事)

週報受理クラブ なし

例会変更クラブ なし

THE WEEKLY REPORT

会長挨拶 (大串 卓会長)



皆さん、こんにちは。

米山奨学生の陸 洪省さん、2008年親善奨学生の七尾友美子さん、そして今日から当クラブの会員となります福谷さん、ようこそいらっしゃいました。会員一同心より歓迎いたします。

今年のテーマに思いやりの心とあげましたが、それを思わせる事柄を紹介したいと思います。

1985年3月17日 イラン・イラク戦争中、イラクのサダム・フセイン大統領が、『イラン上空を飛行するすべての飛行機を、2日後から攻撃する』と発表した。この緊急事態に、各航空会社は、まず自国民を優先させて帰国させた。当時、約500名の日本人がいたが、空港に詰め掛けた日本人の内、座席を確保できたのは半数だった。日本からの救援機はこず、二百数十名が危険な場所に置き去りになった。その時、トルコ航空機が危険を冒してイランに乗り入れ、日本人全員を救助した。なぜ、トルコが救援機を飛ばしてくれた大きな理由は、約100年前の『エルトゥールル号の遭難』にあった。

明治23年(1890)9月16日夜、約600人が乗船するトルコのエルトゥールル号が紀伊半島南端の大島付近で台風に会い、岩礁に激突、沈没してしまった。大島は離島で、約四百戸の小さな村だが、村民総出で救助に当たり、69名の命がたすかった。お互いに言葉は通じず、村には医薬品・食料も不足していたが、村人は食べ物・衣服その上非常用の食料までも提供した。傷が癒えてトルコに送り届けられた。

これが100年後に「恩返し」を受けることとなりました。『情けは人のためならず』と言うことわざのとおり、お互いの思いやりの心が通じたと思います。

外部卓話「米山奨学生生活の感想と中国文化について」 米山奨学生 陸 洪省さん

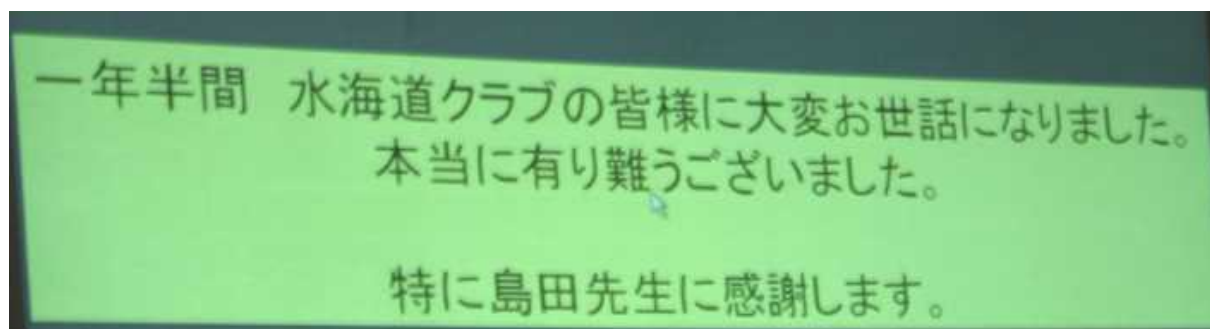
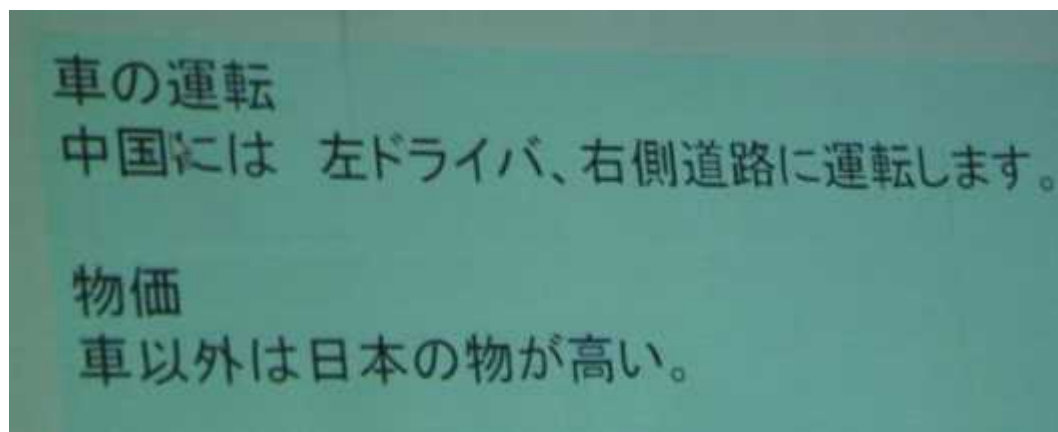
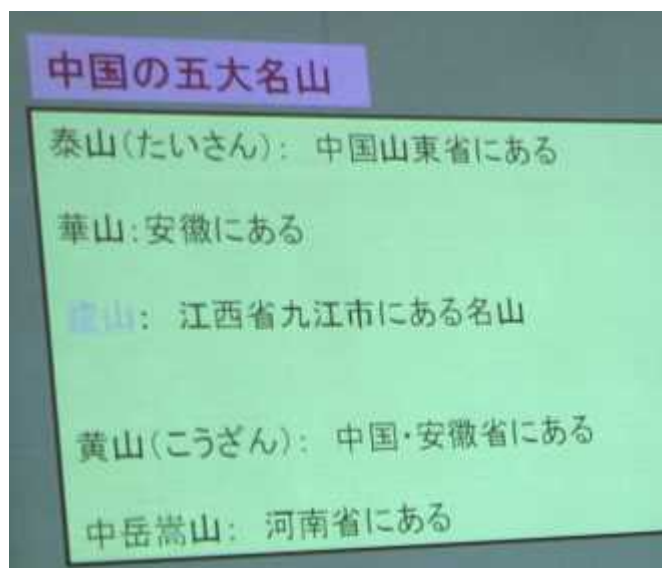


一年半(2006.4-2007.10)奨学生としての感想

生活・・・(感謝)日本留学生活を大変助けてくれました。

学業・・・私は全力を集中して研究に励んで、自分の研究には三つの新種菌を三宅島火山灰から発見した。卒業論文も終わり。微生物学会で(九州大学、東京大学、千葉大学、愛媛大学)自分の研究結果を発表した。

THE WEEKLY REPORT



出席報告 (橋本忠昭副委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
50名	41名	10名	0名	5名	92.00%

ニコニコボックス (武藤康之SAA)

入金計 ¥36,000 累計 ¥733,000

陸さん最後の卓話宜しくお願いします。 大串会員

この度45周年実行委員長の指名を売れました。皆様のご指導、御協力を頂き責任を果したいと思いま
すので、宜しくお願い致します。また今月をもって米山奨学生の陸 洪省さんが一年半の奨学期間が終
了することになりました。会員の皆さん御協力が難う御座いました。尚、本日最後の卓話がありますので
宜しく。 島田会員

THE WEEKLY REPORT

本日から宜しくお願い致します。 福谷会員
福谷様、ご入会おめでとう御座います。 田上・武藤 各会員
福谷様よろしくお祈いします。 横山・倉持 各会員
この暑さを何とか生き延びましたので。 山崎会員
今日でお彼岸が終わりです。 瀬戸会員
その他 二本松会員
休みが続きまして。 青木(清)会員
例会欠席しました。 中川・五木田・古谷・穂戸田・櫻村・山野井 各会員

会報委員会 委員長 松坂興一 副委員長 登坂 寛 委員 石塚利明

RI会長メッセージ

自らの職業に最善を尽くす

まず職業分類、そして会員

RIの管理構想のあり方は、単に意味論にとどまる問題ではありません。実のところ、それはロータリーの奉仕活動の性格の本質的を反映しています。ロータリアンは一人ひとりで奉仕活動を行うのではなく、地域のロータリー共同体の一員として活動するのです。ですから、初期のころ、ロータリーの先人たちは、それぞれのクラブが常に経験、能力、才能の豊かさと同様性を保つのを保証する意味で、職業分類というシステムを考え出したのです。

「まず職業分類、そして会員」という原則こそが、何十年にもわたってロータリーを支えてきたものの一つです。職業奉仕月間に迎えるに当たり、私たちの事業、専門職務、それに地域社会での天職こそが、私たちのクラブ組織の基本であることを思い起こす機会なのです。私たちの職業を通じての良い奉仕、それがロータリアンとしての私たちの奉仕活動なのです。

ロータリーの徽章は世間の人々への宣言

私たちの職業に関するいい奉仕とはどんなことでしょうか？ 私にとってそれは、非常に単純なことです。私たちが試みることにすべてに最善を尽くし、何ごとにも「四つのテスト」を最前面に置いて、考え、発言し、そして行動することです。もし私たちが、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうかを自問自答してみれば、私たちをつまずかせるような、道徳上の落とし穴にはまることはないでしょう。

私にとって、倫理基準とは、私たちの人道奉仕の一部であり、その範疇(はんちゅう)です。私たちがロータリーの徽章を襟につけると、私たちは世間に対し、私たちが正直で、率直で、思いやりがある人物であることを告げているのです。ロータリーの徽章は、私たち自身からの世間の人々に対するメッセージであり、宣言なのです。それは、私たちが共有する一連の理想に対して献身するという証であり、ロータリークラブ会員に要求される高い倫理基準を守ることへの固い誓いです。もし、私たちがこのような高い倫理基準を維持すれば、私たちは、個人、地域社会、そして行政の信頼を獲得し、より効果的な人道的活動をなし得るでしょう。

ロータリーは個々の力の結集

ロータリーは平和と友情のための戦力です。それは、私たちを結び、いろいろな方法で人々を助けることを可能にします。しかし、ロータリーの強さは個々のクラブの強さの合計で、クラブの強さは、会員の力を合わせたもの以外のなにものでもありません。私たち一人ひとりが、家庭で、クラブで、そして、私たちの職業で、どんなに大きな責任を負い、その責任を果たすために活動していかなければならないかを、心しなければなりません。